

広報 ひこね

2002

12/15



新調されたちょうちんが目を引く夜の花しょうぶ通り



カトカウスキーさん
(ミシガン州立大学連合日本センターで)

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**園**情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411(内線431)へ気軽に連絡してください。

表紙のことば

フレイヤ・カトカウスキーさん
(松原町)

玄宮園は、私が初めて見た日本庭園で、大好きな彦根の中でも特にお気に入りの場所の一つです。その後京都など各地でいろいろなお庭を見ましたが、玄宮園が一番すばらしいと思います。季節ごとに異なった趣の景色を楽しむことができ、何度訪ねても飽きません。鳳翔台でいただく抹茶も格別です。

「虫の音を聞く会」、「ムーンコンサート」、「錦秋のライトアップ」など、玄宮園でのイベントが続いた秋が終わり、私にとって彦根で迎える5回目の冬がやってきました。

市街地の喧噪を離れ、江戸時代に戻ったかのような静かなたたずまいのお庭が、表紙写真のような雪化粧を見せてくれる日を楽しみにしています。